

手順書:呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連

6. 気管カニューレの交換(在宅-2)

【特定行為の概要】

医師の指示の下、手順書により、気管カニューレの状態(カニューレ内の分泌物の貯留、内腔の狭窄の有無等)、身体所見(呼吸状態等)及び検査結果(経皮的動脈血酸素飽和度(SpO_2)等)等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、留置されている気管カニューレの交換を行う

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

気管開窓術後、または、気管切開後、1 週間を経過して瘻孔が完成した気管カニューレ挿入中の患児・患者。定期交換の時期。

症状の
範囲外

不安定
緊急性あり

主治医または
当該診療科医師へ
直接連絡

【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

バイタルサインが安定している
意識レベル、病状が平常時と変化がない
瘻孔からの出血がない、出血傾向がない
瘻孔周囲の皮膚トラブルがない

症状の
範囲内

安定
緊急性なし

【診療の補助内容】

気管カニューレの交換

【特定行為を行うときに確認すべき事項】

意識、バイタルサインに問題がない
呼吸状態の変化(SpO_2 、呼吸数の変化)
分泌物量・出血量の変化
皮下気腫の有無
(人工呼吸器装着時の場合)一回換気量・分時換気量の変化
* 追加事項

症状の
範囲外

不安定
緊急性あり

主治医または
当該診療科医師へ
直接連絡

【医療の安全を確保するために医師・歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】

主治医、当該診療科医師、または医療安全担当医師へ連絡する

【特定行為を行った後の医師・歯科医師に対する報告の方法】

1. 担当医師へその日のうちに連絡(FAX)
2. 毎月の報告書への記載